



第9回「ものづくり日本大賞」受賞者について

（沖縄県から17年ぶりの経済産業大臣賞）



▲受賞者及び西村経済産業大臣（真ん中）の記念写真



▲沖縄総合事務局での受賞報告会の様子

令和5年1月23日（月）、阿波根昌樹氏（所属：株式会社HPC沖縄）ら5名が沖縄県から17年ぶりに「ものづくり日本大賞」において経済産業大臣賞を受賞しました。

同氏らが開発したハイブリッドプレストレストコンクリート（HPC）は、厚さ20～40mmの超薄肉コンクリートでありながら、高い耐久性とデザイン性を兼ね備えており、錆びない材料を使用することから塩害を受けないという全く新しい技術であるという点が評価されました。

【受賞理由】

ハイブリッドプレストレストコンクリート（HPC）の物性により、自由度の高いデザインが可能となり、従来では不可能であった高いデザイン性と耐久性を両立させ、沖縄の厳しい自然環境『塩害・台風・地震』の課題解決から生まれたHPCは、錆びない材料を使用するため塩害を受けず、地場産業の代表格であるコンクリート製品のグローバル展開の可能性を広げたことが評価されました。

「ものづくり日本大賞」は、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するものです。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より開催しており、今回で9回目を迎えます。阿波根昌樹氏（所属：株式会社HPC沖縄）ら5名は経済産業大臣賞を受賞いたしました。

【受賞者・所属企業】

阿波根 昌樹	株式会社HPC沖縄	一級建築士事務所
細矢 仁	細矢仁建築設計事務所	
西園 博美	有限会社西園博美構造設計事務所	
多田 修二	株式会社多田脩二構造設計事務所	
宮野 伸介	株式会社技建	

2. 第9回「ものづくり日本大賞」

1. 沖縄の受賞案件【経済産業大臣賞】

ハイブリッドプレストレストコンクリート（HPC）技術の開発

